

山口薫 ー 孤愁の画家ー 関連資料リスト

図書館講座「郷土にかがやくひとびとー昭和編ー」
第1回 平成23年6月9日(木) 「山口薫 ー 孤愁の画家ー」と連動し、
本館所蔵の山口薫関連資料の一部を展示します。
展示期間：平成23年5月5日～

群馬県立図書館 調査相談室

山口薫略歴 明治40年(1907)～昭和43年(1968) 洋画家

群馬郡箕輪村(現高崎市箕郷町)金敷平の旧家に8男3女の末子に生まれ、榛名山麓の豊かな自然と大家族のぬくもりに包まれて幸福な少年時代を過ごす。郷里は生涯に渡り心の拠り所となり、作品にも深い影響を与えている。高崎中学時代の絵日記の描写力や抒情には、画家としての原風景が垣間見える。東京美術学校在学中に2年連続帝展入選。3年時に参加した画会で、芸術は精神の表現であることを自覚する。23歳で渡仏。イタリアやスペインも訪れ感動と研究の日々を送り、日本を離れることで墨絵など日本的な精神の深さも再認識する。帰国後は自由美術家協会やモダンアート協会の結成に参加し、新しい日本洋画の創出を目指した。この頃、最初の結婚の破綻から郷里の自然の中で癒しの時を経て、思想的、芸術的に飛躍を示す。『花の像』等で、具象と抽象の間に日本的抒情を漂わせる独特の様式を確立。『紐』『葬送』『母子』等で注目され、東京芸術大学講師となる。その後『花子誕生』『田園詩』等、近代日本洋画史に残る作品を発表。箕輪城史を連想させる『矢羽根飛ぶ』等で芸術選奨文部大臣賞を受賞。深い詩情と厳しい造形意志から導かれる感性の美は、日本人による油彩画の一つの到達点と評される。芭蕉に共感し詩文も多い。過労の続く中で体調を崩し、現役教授のまま世界。『おぼろ月に輪舞する子供達』は、自らの死を見つめた絶筆となった。

【図書】(書名 著者名 出版者 出版年 請求記号 貸出用有に○)

- 『群馬県百科事典』 上毛新聞社編 上毛新聞社 1979 K030 G94 ○
『箕郷町誌』 箕郷町誌編纂委員会編 箕郷町教育委員会 1975 K241 Mi51 ○ p.737-740 山口薫
『郷土歴史人物事典群馬』 萩原進著 第一法規 1978 K281.3 H14 ○ p.201-202 山口薫
『上州の顔 歳時記』 東京新聞編 東京新聞前橋支局 1981 K281.3 1Z ○
『群馬県人名大事典』 上毛新聞社編 上毛新聞社 1982 K281.3 2Y ○
『郷土史にかがやく人々』第3集 群馬県青少年育成推進会議編 群馬県 1970 K281.4 G94.1 (3) ○
p.99-111 故里の心を画いた 山口薫
『上毛人物めぐり』 正木四郎編 群馬県警察本部 1963 K281.4 Ma61 ○
『郷土に光をかかげた人々』2巻 群馬県教育委員会編 群馬県教育委員会 1985 K281.4 153 (2) ○
p.193-198 ふるさとの土から生まれた画家 山口薫(箕郷町)
『おはなし高崎人物伝』 吉永哲郎著 高崎市 1997 K284.2 72 ○
p.138-140 山口薫ー日本的叙情美を確立したモダンアートの旗手ー
『はこだたより』 今井善一郎編 橘山房 2008 K288 8X p.22 薫さんの画会
『金敷のおじいさん』 今井善一郎編 橘山房 1960 K289.41 Y24 ○ p.68-70 父に寄せて 山口薫
『山口薫 色と形に託した魂の日記』(みやま文庫195) 黒田亮子著 みやま文庫 2009 K289.42 Y24 98 ○
『榛名と伊香保』(みやま文庫7) 山口薫[ほか]著 みやま文庫 1962 K298 H34 ○
p.1-18 「榛名を思う」座談 語る人 山口薫、聞く人 堀川寛一 小林良曹
『群馬県教育史』別巻 人物編 群馬県教育センター編 群馬県教育委員会 1981 K372 G94.2 2(6) ○
『高崎高等学校90周年小史』 高崎高等学校90周年小史編集委員会編 群馬県立高崎高等学校創立90周年記念事業実行委員会 1987 K376.8 Ta52.1 3-2 ○ p.30 人物点描 モダンアートの旗手 山口薫 第24期卒
『高崎高校八十年史』上巻 高崎高等学校史編集委員会編 群馬県立高崎高等学校創立八拾周年記念事業委員会 1980 K376.8 Ta52.1 103-1 ○
『翠巒の群像 高崎高校創立百周年記念誌』 高崎高校百年史編纂委員会編 群馬県立高崎高等学校創立百周年記念実行委員会 1998 K376.8 83 (2) ○
p.277-286 色彩豊かな、抒情溢れる日本画の油彩画を完成させた山口薫 武井民部
『歳月の記録』 山口薫著 用美社 1983 K700 138 ○
『群馬の近代美術』(みやま文庫81) 中村節也[ほか]執筆 みやま文庫 1981 K702 113 ○
p.130-159 山口薫ー詩魂の画家 豊田一男
『群馬県美術展覧会目録』第19回 群馬県展目録 群馬県教育委員会 1983 K706.9 G94
p.19 故山口薫画伯略歴、p.20 山口薫君を悼む 中村節也、生活の中から 豊田一男、山口薫さんの思い出 小林良曹
『モダンアートの旗手たち 村井正誠・矢橋六郎・山口薫』 市町村立美術館等活性化事業 共同巡回展 住田常生編 共同巡回展実行委員会 2002 K706.9 28
p.8-9 心の殉教者 モダンアートの旗手たち 山口薫を中心に 黒田亮子(元群馬県立館林美術館館長)
『山口薫展』 [群馬県立近代美術館編] 群馬県立近代美術館 1975 K706.9 754 ○
『山口薫展』 群馬県立近代美術館編 群馬県立近代美術館 1985 K706.9 15X ○
『企画展 源流・山口薫ー群馬県立近代美術館協力による』No.34 大川美術館編 桐生 大川美術館 K706.9 194 (34) ○
『私の好きな美術館NHK日曜美術館から』 日本放送出版協会編 日本放送出版協会 1993 706.9 135
『家族の情景展 日本の家族を考える』 茨城県近代美術館編集 茨城県近代美術館 2006 K706.9 60
p.72 「母子」、p.73 「白痴の愛(あやこ)」、p.74 「千手黒婦人像」、p.75 「あや子あやとり」、p.76 「娘の肖像 おぼへがき」
『山口薫展』 群馬県立近代美術館編 読売新聞東京本社 [2008] K706.9 80 ○
『原色現代日本の美術10 現代の洋画』 土方定一編 小学館 1980 708 +G34.5 (10) ○
p.69 紐、p.70 千手「黒夫人」像、p.71 花子誕生、p.72 ダム・エリザベートの戴冠、p.121 解説

- 『土方定一著作集』 8 土方定一著 平凡社 1977 ○ p.223-236 村井正誠、山口薫さんのこと
『四百字のデッサン日本エッセイスト・クラブ賞 第26回』 野見山暁治著 河出書房新社 1980 720.4 N94 ○
p.74-82 「自由美術」の画家たち
『山口薫』 第2集 山口薫著 求竜堂 1975 K723 +テ54 (2) ○
『山口薫 壁画ものがたりーぐんま戦後50年』 群馬県立図書館(上毛新聞抜粋) 1996 K723 +ナ66
『山口薫 中学時代絵日記 大正11年ー19年』 [山口薫著] 煥乎堂 1969 K723 ヲ92 ○
『山口薫素描集』 山口薫著 用美社 1983 K723 ト3Z ○
『独りの時間 山口薫詩画集』 山口薫著 求竜堂 1999 K723 ナ94 ○
『田園のシンフォニー 山口薫の芸術』 山口薫[画] 茨城県近代美術館 2001 K723 ニ10
『山口薫 画布に刻まれた詩』 上毛新聞社編 上毛新聞社 2008 K723 ニ89 ○
『山口薫の犬 甲斐虎のクマ』 山口薫著 求龍堂 2008 K723 ニ8Y ○
『日本現代画家選』 18 美術出版社 1955 723.1 +N77 (18) ○
『山口薫』 山口薫画 求竜堂 1968 723.1 +Y24 ○
『画壇青春群像』 竹田道太郎著 雪華社 1960 723.1 Ta59 ○ p.151-162 自由美術家協会
『近代日本洋画素描大系4 昭和』 岩崎吉一編著 講談社 1985 725 +ト4X (4) ○ 140-148 山口薫
『上州の文学紀行』 朝日新聞前橋支局編 前橋 煥乎堂 1969 K902 A82 ○

【雑誌】

- 『アート・トップ特集:胎動する院展の精鋭たち』 第17巻第5号通巻95号 芸術新聞社 1986.1
p.111 回想の山口薫展 銀座スルガ台画廊
『鼎 郷土文化誌』 第2巻第8号 特集:孤愁の画家・山口薫 昭和50年8月号 高崎 あさを社 1975.8
『群馬の森美術館ニュース花子誕生 山口薫』 No.16 群馬県立近代美術館 1979.3
『群馬の森美術館ニュース 幻影のカンヴァス 山口薫』 vol.134 群馬県立近代美術館 2008.1
p.1 2008年展覧会案内 幻影のカンヴァス 山口薫
『群馬の森美術館ニュース時の話題』 vol.136 群馬県立近代美術館 2009.4 好評だった「山口薫展」の巡回
『芸術新潮』 15巻3号通巻171号 新潮社[編] 新潮社 1964.3 p.50-52 芸大十年 山口薫
『芸術新潮』 新潮社
第7巻第7号 1956.7 p.56 第二回現代日本美術展ベストテン 第二位 山口薫 田園詩
第9巻第7号 1958.7 p.187-199 現代を擔う人7 山口薫 宇佐見英治、p.200-201 山口薫と故郷 井上房一郎
第9巻第9号 1958.9 グラビア グゲンハイム国内美術賞受賞 山口薫
第15巻第3号第171号 1964.3 p.50-52 芸大十年 山口薫
第19巻第7号第223号 1968.7 p.127-129 山口薫の死 宇佐見英治
第36巻第3号第423号 1985.3 野見山暁治が選んだ十四人 p.10 詩情ただよう線 山口薫 「裸婦」
第41巻第3号第483号 1990.3 p.54-56 山口薫の絶筆 愛想をふりまかない人の絵 梶川芳友
『劇場都市 高崎文化情報マガジン』 No.38 高崎市文化課 2006.3 p.1-4 山口薫 その詩情の原風景
『ケノクニ』 第5巻第8号通巻第51号 ケノクニ発行所 1950.12 p.4-5 獨語 山口薫
『光路』 関口定治編 第10号 1927.4 p.14 握りこぶし 山口薫、第12号 1927.6 p.14 水面に降る雨 山口薫、
第13号 1927.9 p.6 徴兵検査 山口薫
『三彩 特集:山口薫』 通巻522号 三彩社 1991.3
p.8-22 山口薫 暖め鳥 果てしない故郷へのあこがれ 黒田亮子、p.23-27 甦える創造性の源泉 山川輝夫
『上州風 JOSHUFU 地域の物語を発掘する』 3号 2000夏 上毛新聞社出版局 2000
p.33-51 特集2 金敷平の画家 山口薫
『日本古書通信』 第67巻 6号通巻875号 日本古書通信社[編] 日本古書通信社 2002.6
p.1 画家の日記(6) 山口薫 酒井忠康
『美術手帖 BT1998. 4月号』 Vol.50 No. 4 No.754 美術出版社 1998.4
p.204-205 近代日本美術家列伝137 山口薫
『美術手帖』 美術出版社
第90号 1955.1 p.90-91 山口薫 人生の休暇 遍歴の幾コマ 森芳雄
第107号 1956.4 p.23-31 山口薫 岡本謙次郎、第110号 1956.6 p.30-32 美術風土記 群馬県、
第111号 1956.7 p.49 第二回現代日本美術展受賞者の顔、第154号 1959.3 p.135 人物点描 山口薫(でえら防)
第160号 1959.7 p.24 第五回日本国際美術展選評 山口薫 矢羽根飛ぶ 岡本謙次郎
p.150-163 ふるさとの詩情とイタリア古典の感銘 山口薫 滞欧青春賦 三宅正太郎
第163号 1959.10 p.82-91 対照作家論 山口薫 村井正誠 同時代者の描く二つの航跡 植村鷹千代
第512号 1983.7 p.118-123 山口薫-展覧会より 知性と含差の画家 三木多聞
『みづゑ』 美術出版社
736号 1966.6 p.50-56 山口薫の日本的抒情 桑原住雄、p.57-58 作家の発言 山口薫
844号 1975.7 p.94-160 回想の山口薫 植村鷹千代
『本の手帖』 第3巻6号 通巻26号 昭森社 1963.8 p.418-419 榛名にて 山口薫

【インターネット情報資源】

- 本県ゆかりの作家たち 山口薫 (群馬県立近代美術館)
<http://www.mmag.gsn.ed.jp/collection/honken/yamaguchi.htm>
源流・山口薫 (財団法人 大川美術館)
<http://www.kiryu.co.jp/ohkawamuseum/kikakuten/34-YamaguchiKaoru/sakuhin.html>
山口薫作品室 (何必館・京都現代美術館)
<http://www.kahitsukan.or.jp/frame.html>